



「福岡市教員育成指標」を策定しました

福岡市教育委員会は、平成29年4月1日に施行された教育公務員特例法の一部改正を受けて、「福岡市教員育成指標」を策定しました。

この指標は、「新しいふくおかの教育計画」に掲げた「信頼に答え得る教員の養成」をめざし、福岡市教育委員会と教員養成を行う大学、校長会で構成する福岡市教員育成協議会において、協議を重ね、策定したものです。

1 「福岡市教員育成指標」とは？

教員（教員志望者）がどのような資質・能力を身に付けながらキャリアを積んでいけばよいのかを示したものです。それぞれの教員が、学び続けるための目安にできるように、求められる資質・能力をキャリアステージごとにまとめています。

2 指標の種類は？

職の専門性を考慮して、次の4種類にまとめました。

- 教諭・指導教諭・主幹教諭（幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校・高等学校）
- 養護教諭
- 栄養教諭
- 管理職（校長・副校長・教頭）



3 求められる資質・能力は？

「教職の素養」と「教職の実践」に関する資質・能力に整理しました。

- 教職の素養：教育的愛情・情熱，向上心・向学心，社会性・協調性，人権認識・人権感覚，法令遵守・体罰等の不祥事根絶の5つ
- 教職の実践：学習指導力（専門的指導力），生徒指導力，組織参画力・組織運営力の3つ

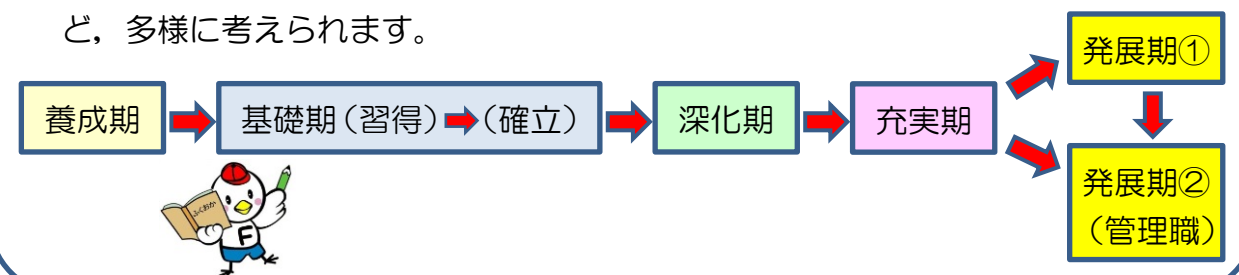


4 キャリアステージの設定は？

教員の経験や力量に応じて、次の6つのステージを設定しました。

養成期	基礎期(習得)	基礎期(確立)	深化期	充実期	発展期
教員になるための基盤を形成する段階	学級担任，教科担任等としての基礎を習得する段階	学級担任，教科担任等としての基礎を確立する段階	若年層教員等へ指導助言できるミドルリーダーとしての役割を果たす段階	学年・教科等をこえて指導助言できるミドルリーダーとしての役割を果たす段階	教職員全体に対して指導助言できるリーダーとしての役割を果たす段階

- キャリアステージは、年齢や採用からの年数を考慮しつつ、教員一人一人が積み重ねてきた経験や、身に付けてきた力量で判断します。
- 発展期は、教員として経験を重ねて学校運営をサポートしていく発展期①と、管理職として学校運営・学校経営を推進していく発展期②に分かれます。
- 教員の目標設定やキャリアの高まりは、個人によって違います。充実期から発展期①・発展期②に分かれるだけでなく、発展期①を経て管理職をめざす場合など、多様に考えられます。



5 指標の見方は？

各ステージに示した資質・能力は、そのステージにおいて身に付けるべき資質・能力です。

6 指標の活用は？

- 自己の成長を確認したり、自己の目標を立てたりするために
- 校外研修を受ける際の講座選択の手がかりにするために
- 自校の学校経営を評価・改善するために
- OJT をすすめる際の目標設定や、組織的な人材育成のために
- キャリアステージに応じた個々の教員への指導助言のために



※ 「福岡市教員育成指標」は、今後、社会や学校を取り巻く状況の変化等を踏まえ、必要に応じて検討・改善していきます。